

平成23年11月16日

内閣総理大臣 野田 佳彦 殿

日本再生の基本戦略の策定と日本再生重点化措置の実現に向けた緊急要望

北海道大学総長	佐伯 浩
東北大学総長	井上 明久
筑波大学学長	山田 信博
東京大学総長	濱田 純一
早稲田大学総長	鎌田 薫
慶應義塾長	清家 篤
東京工業大学学長	伊賀 健一
名古屋大学総長	濱口 道成
京都大学総長	松本 紘
大阪大学総長	平野 俊夫
九州大学総長	有川 節夫

今日、我が国は、東日本大震災と原発事故からの復興、欧州発の世界経済危機の克服という戦後最大の課題に直面し、グローバル社会の国際競争激化が続くなかで、科学技術創造立国存亡の岐路に立っています。人口減少と超高齢化が進むなか、激変する世界構造と激化する国際競争に打ち勝ち、世界とともに持続可能な成長を実現していくためには、あらゆる叢知を結集しなければなりません。

天然資源に乏しい我が国が今日の危機を乗り越える鍵は、優れた「知恵」と「人材」に他なりません。歴史を振り返っても、我が国は、幕末、敗戦といった国家の危機に際し、教育の確立と科学の発展で未来を拓いてきました。特に、大学は、多様かつ高度な教育と研究を融合した知の集積体として、新たな社会のフロンティアを拓くとともに、新たな社会を拓くリーダーを社会に送り出す重要な使命を果たしてきました。

今日、グローバルな知識基盤社会を迎え、知の国際競争と人材の獲得競争は熾烈を極め、各国が競って大学へその投資を拡充させています。こうした中、平成24年度予算の概算要求に当たり、我が国経済社会の再生に向けた取組（「日本再生重点化措置」）として掲げられた4つの分野は、いずれも大学を挙げて取り組まなければならないものであり、時宜を得たものと認識しています。

我々は、この歴史の転換点に立ち、これからのグローバル社会で果たす使命を明確にし、未来と世界を拓く人材育成と研究に覚悟を持って臨む所存です。政府には、「日本再生の基本戦略」の策定と「日本再生重点化措置」の実現について、大学の役割の重要性に格段のご配慮をお願いしますとともに、上記の取組を促進させるためにも少なくとも文部科学省提出の下記の2事業について、確実に措置されますよう強く要望します。

## 1. 「世界に雄飛する人材の育成」

前述の通り、人口減少社会を迎える我が国が、今日の危機を克服し、持続的に成長・発展する社会を築くためには、若者の力を最大限高め、自身を持って世界に挑戦する高度な人材の育成が不可欠です。

このため、博士課程を中心とした大学院教育の抜本的な改革・強化を図り、世界を牽引するリーダーの養成と、トップレベルの研究者養成を両輪として、博士課程学生のキャリアパスの明確化と経済支援の充実を図り、優秀な人材を惹き付け、国内外で自立して教育研究に専念できる環境を構築することが必要です。

また、グローバル人材育成が社会から強く求められている中、大学のグローバル化のための体制整備を早急に図るとともに、世界に通用する教学システムの構築を図りつつ、学長のイニシアティブによる大胆な教育システム改革を推進することが急務です。

これらのために以下の事業の確実な措置をお願いします。

- (1) グローバル・リーダーを育てる「博士課程教育リーディングプログラム」、並びに卓越した研究者を養成する「アカデミック・パイオニア養成支援事業」
- (2) グローバル人材育成の体制整備及び大学の国際展開のための「グローバル人材育成推進事業」及び「大学の世界展開力強化事業」、並びにこれらを支える学長のリーダーシップと教学ガバナンス改革を推進する「大学教育改革新展開推進事業」
- (3) 若手研究者が世界に挑戦する海外派遣・交流を支援する「頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣事業」及び若手研究者が研究に専念できる環境整備を図る「特別研究員事業」・「テニュアトラック普及・定着事業」

## 2. 「経済成長を支える科学技術基盤」

新成長戦略に掲げる「ライフイノベーション」、「グリーンイノベーション」、さらに「新しいフロンティアの開拓」は、科学技術基盤の充実・強化があつてこそ実現するものです。活気あふれる素晴らしい研究環境の中で生き生きと研究を行う体制を整えるために、独創的で多様な研究を広範かつ継続的に推進するとともに、世界トップレベル研究拠点の形成を強化すること、さらには、基礎研究と実用化の間で資金不足により生じる、いわゆる「死の谷」を克服することが必要不可欠です。このため、産学官の多くの研究者に利用される研究開発の共通基盤を強化する以下の取組に確実な措置をお願いします。

- (1) 複数年度で使用できる科研費の研究種目の拡大（「若手研究（A）」の基金化）
- (2) 独創的で多様な研究から生まれるシーズを課題達成等につなげる「課題達成型基礎研究の充実（戦略的創造研究推進事業・新技術シーズ創出）」
- (3) 国内外の優れた研究者を惹き付ける世界トップレベル研究拠点（WPI）の新たな戦略的展開
- (4) 産学官に金融機関等を加えた「産・学・官・金」の連携による、基礎研究と実用化段階の間にある「死の谷」を克服する新「明日に架ける橋」プロジェクトの推進